

## ワンポイントレッスン ～硯の手入れ～

使用後の硯は、残り墨をよく洗い落とし常に硯面を清潔にしておきましょう。

練習した紙で拭き取る事も一つの方法ですが、ただ拭くだけでは墨に含まれている膠（にかわ）が次第に鋒銚の中に固まって墨がおりにくくなるので、使用後は水洗いをしてください。落ちにくい時はぬるま湯に浸すとよく落ちます。

どんなに硬い硯でも長い間使用していると鋒銚が次第に摩耗して鈍くなり、墨がおりにくくなります。このような時には硯用砥石で硯面を丁寧に磨くと鋒銚は鋭くなります。

墨の性能を発揮するしないは、この鋒銚次第なので手入れをしっかり行いましょう。

